

# interview

Text&Photo/Ami Goto

## 岩井 生二さん

離れた家族の様子が知りたい…。しかし、頻繁には帰れない。毎日電話をするのも煙たがられるかも…。そんな悩みを持っている方も多いと思います。そこで、システム開発をしている「有限会社 エヌ・エム・エス」の代表取締役をしている岩井さんが、そんな悩みを持った人の役にたちたいと開発した「みるもに」への想いをインタビューさせていただきました。

実は同機には災害が発生するとテレビを起動して警報音を出し、画面に具体的な避難行動や避難場所などの情報を映して知らせる機能も付いています。ガッチャリ監視するのではなく、動いている…、そんなことがわかるのです。ガッチャリ監視するのではなく、ふんわりとしたというイメージを持つてもらえればと思います。さらに、部屋の温度・湿度を感知する機能もついているので、部屋の中での熱中症対策にも適しています。年々気温が上がりしていく中、部屋の中だから熱中症にならない…と思っている方もまだ多いのが現実。そこで、「熱中症」の機能もプラスしました。先ほども言つた通り、この3つの機能、どちらがどういった通り、この3つの機能で「大丈夫だな」とか「あれ、おかしいぞ?」が分かるわけです。

私は自身、親が亡くなった時にすぐに駆けつけることが出来ず、悔後悔思ひがあります。そんな思いを、ほかの方々にして欲しくないのです。そんな思いも込めて「みるもに」を開発した経緯もあります。ふんわり、なんとなくくわかる見守りシステムと思っていただけなら幸いです。

つけて観ますよね。見守りたい人のテレビの電源状態、人の動きを見守る機能が付いているので、テレビの前を動いている…、そんなことがわかるのです。ガッチャリ監視するのではなく、ふんわりとしたというイメージを持つてもらえればと思います。さらに、部屋の温度・湿度を感知する機能もついているので、部屋の中での熱中症対策にも適しています。年々気温が上がりていく中、部屋の中だから熱中症にならない…と思っている方もまだ多いのが現実。そこで、「熱中症」の機能もプラスしました。先ほども言つた通り、この3つの機能で「大丈夫だな」とか「あれ、おかしいぞ?」が分かるわけです。

世の中には、見守りシステムが付いた商品がありますが、弊社が開発した「みるもに」は生活の中で一番使っているテレビを利用しているという点なんですね。一日の中で1回はテレビを題がでてくるんです。

世の中には、見守りシステムが付いた商品がありますが、弊社が開発した「みるもに」は生活の中で一番使っているテレビを利用しているという点なんですね。一日の中で1回はテレビを題がでてくるんです。

用して、見守ることができるという点です。誰だって自分の行動を常にテレビカメラなんかで監視されないと嫌ですね。」相談に来られる方々は、開口一番「行動をカメラで見た」と言うのですが、その立場を自分に置き換えると絶対嫌ですね。なので、利用者の動きだけを感じるシステムとなっているんです。

今の世の中は隣近所の付き合いが薄くなっているので、社会からの孤立から孤独死などの問題が多いですね。「最近、隣の家の人の姿を見ていない」「郵便物が溜まっている」や、「住んでいるところが遠く離れていて、実家で暮らす両親の家に気軽にに行くことができない」などの声を多く聞きます。そんな不安を解消するために毎日電話をするのも、最初は良くてお互いが監視されている、監視しているといった気持ちになることもあるかもしれません。それに、毎日の電話も大変。お互いがストレスを感じ、そこで喧嘩になったりなど…。色々な問題がでてくるんです。

今は、徳島県や鳴門市に「みるもに」の機能を伝えているところです。

やはり、地域の人との繋がりを大切にし、もっとより良い未来・鳴門になることを願っています。

youtubeで  
公開中!



### 【プロフィール】

岩井 生二(いわい せいじ)。鳴門市在住。1956年8月4日生まれ。「有限会社 エヌ・エム・エス」代表取締役。趣味は、キャンプ。座右の銘は「多くの人に幸せや喜びを与えていく。それ以上に、尊くて素晴らしいものはない。」ルートヴィヒ・ヴァン・ヴェートーベン「みるもに」などのお問い合わせはこちら!

【有限会社 エヌ・エム・エス】

鳴門営業所:鳴門市鳴門町三石字芙蓉山下310

電話:088-687-4101

Mail:info@nms.jp

「みるもに」の  
紹介動画はこちら



追加オプションの人感センサー、「みるモニ」の本体、アプリ画面(写真左)

遠く離れていても見守ることができる